



no.1

母の最後の一月間、在宅での生活を支えて頂き  
ありがとうございました。

長きに渡る闘病生活の末に余命告知を受け、  
本人が知らぬうちに過ごす生活は色んな意味で  
ギリギリの状態でしたが、急激に状態が悪化した  
段階でスムーズに在宅へ移行でき本当に感謝  
しております。

母は若い頃から苦労してきたせいもあるが、  
おかげが深い思いを口にする人ではなかったが、  
共に過ごした一月の中で、ありがとうございました  
謝られたりと命喪なから距離感がぐんと近くなった  
時間でした。

最後をりに任せてからは、悪病かと言わなくなった母に  
私を120%の優しさで接する心に決め過ごしました。



402

母親との言え、その命に対する責任と尊厳を強く感じ。  
仕事をして母を看取る事に罪悪感を感じ。

在宅生活の大変さは介護だけではなく、遠く物入の  
葛藤もあるんだと身をもつて穿ちました。

家族の不向きを感じ、今後自分が通る道も想像し、  
この穿いた時間を過ごせた事に感謝です。

こんな在宅生活が充実しているとは知らなかった  
ので、蓮根殿の一口と一口と仏が、本人や家族の  
状況に合わせて選んでくれる世の中になったら  
いいなと思います。

村尾さんの看取の認知度は凄く知らずい人は  
いなかった。我が家の話をさせて貰い、

整理が付けられ、そういう看取りもあるよと  
伝えたいです。



no 3

2月7日の方には お忙しい所と思いますが、  
どうぞご自身の お身体を大事にされて下さい、  
今後を恙なく 家族が自分らしく 豊やかに  
過ごせるようお願いしております。

本年田の地へ開業して貴い本年に  
ありがとうございました。

令和5年1月31日